

全日本インカレ・男子東西王座決定戦・学生選抜東西対抗戦
のベンチ入りスタッフの資格について—平成20年度から—

1、日本バレーボール協会認定コーチ制度の終了について

平成16年度から、日本バレーボール協会主催の全国大会（大学の試合としては、全日本インカレ・男子東西王座決定戦・学生選抜東西対抗戦）にはベンチ入りスタッフである部長以外の監督・コーチ・トレーナー・マネージャーの内、最低でも1名は日本体育協会が公認する有資格者であることを義務化する方針が出されました。チーム内に有資格者がいない場合は、部長のみのベンチ入りを認め、監督、コーチ、トレーナー、マネージャーはベンチに入れない状況で試合に臨まなければならないことになっています。平成16年度から19年度は、その制度確立に向けた移行期でした。したがって、ここまで実施してきました学生対象の「全国大学ブロック別バレーボール指導者研修会」で、日本バレーボール協会認定コーチを取得した方も、平成20年度からは有資格者として認められなくなります。

2、大学における平成20年度からのベンチスタッフの制約について

平成20年度からはベンチスタッフに、①「日本体育協会公認資格を有するもの」、がいることが義務付けられます。ただし、大学の場合、バレーボールが専門ではないベンチスタッフがいるチームや、学生が監督を兼務しているといったチーム等、様々な状況のチームが混在しています。それらを含めた多くのチームが全日本インカレに参加してくることから、日本バレーボール協会から大学だけに与えられた特別措置によって、ベンチ入りスタッフを認められることが確認されています。特別措置とは、もしチームに①の有資格者がいない場合でも②「全国大学バレーボール部員対象財団法人日本体育協会公認バレーボール指導員（専門科目）資格取得講習会で準指導員の資格を得たもの」がチームに1名以上いれば、平成20年度以降もベンチスタッフに制約はかからないというものです（ただしその学生がプレーヤーであった場合は、たとえば「コーチ兼任」のようにスタッフとして登録する必要があります）。いずれにしても①か②の資格を持つスタッフがいなければ今後ベンチスタッフに制約がかかることになります。

3、資格取得について

①の取得方法については各都道府県バレー協会の指導普及委員会に問い合わせてください。なお、チームの監督・コーチ・トレーナー等が平成20年度に日本体育協会の資格を取得中の場合については、その時点で資格を取得できていなくても取得中の証明があればベンチ入りできます。②の準指導員資格取得講習会は、毎年8月上旬に3泊4日の日程で東京都町田市の桜美林学園で実施しています。平成19年度の実績では200名近くの受講生（学生バレーボール部員）が資格を取得しました。この資格は、別に日本体育協会の共通教科を取得すれば、合せて日本体育協会の公認資格を得られます。大学生がバレーボールの勉強をして、指導者の資格を取得していくことは、将来の日本バレー界にとっても極めて重要であると考えております。

日本バレーボール協会指導普及委員会としては、将来的には日本バレーボール協会主催の全国大会に監督としてベンチ入りするからには、日本体育協会の資格を有することが最低条件という方向に進んでいます。繰り返しになりますが、大学は特別措置を認められています。平成20年度からは、特に全日本インカレ出場を目指すチームでまだ有資格者がいないチームにおいては、必ず①か②の資格の取得に向けた対応をしていただくようお願いいたします。

以上